

〔特別招聘〕

招 聘 者	東京大学大学院 工学系研究科 教授 染谷 隆夫	2023001
研究集会名	フレキシブル・プリンテッド・エレクトロニクス国際会議 (2012 International Conference on Flexible and Printed Electronics : ICFPE2012)	
出張期間	平成 24 年 9 月 6 日～平成 24 年 9 月 9 日	
開催場所	東京大学	
被 招 聘 者	Michael Graetzel, École Polytechnique Fédérale de Lausanne (EPFL) ・教授	

概 要：

フレキシブル・プリンテッド・エレクトロニクス国際会議 (ICFPE2012) は、平成 24 年 9 月 5 日から 4 日間にわたり東京大学で開催され、日本を含め 23 か国から 1,100 名を超える参加者を迎えた。この研究分野は現在、世界で熾烈な競争が繰り広げられている。このたびの会議では、ノーベル賞受賞者や名高い研究者、グローバル企業経営者たちが大局的見地から技術動向と将来ビジョンを示したことにより、最新の研究視点を提供する結果となった。立石科学技術振興財団のご援助により招聘された Michael Graetzel 教授 (EPFL スイス連邦工科大学ローザンヌ校) は、有機色素増感太陽電池における第一人者である。同氏の基調講演は、フレキシブル太陽電池の開発を通して人間と機械の調和を目指す新技術の可能性を明確にした。フレキシブル・プリンテッド・エレクトロニクスの発展のためには、極めて広い学際基盤の確立が望まれる。本国際会議では、最先端の技術や知見を有する研究者が集結したことにより、学際領域の形成を大きく促進した。また、それぞれ独自の活動を展開している関連学協会が一堂に会したことにより、議論の活性化を導き出し、分野の発展に貢献した。一方で、日本の先端素材やプロセス装置の優れた技術について研究成果を発信し、我が国のプレゼンスを世界に示した大変有意義な会議となった。